

平成28年度(2016年度)

管理事業名	まちづくり計画事業			総合計画の体系	第6章 第2節	安全で魅力的なまちづくり 暮らしや都市活動を支える基礎づくり ほか		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 1	都市計画総務費	
部局名	都市計画部 土木部	予算執行所属		都市計画室・計画調整室・地域整備推進室				
予算大事業名	まちづくり支援事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)都市計画費(目)都市計画調査費					
一般事務事業	千里ニュータウン活性化再生支援事業		まちづくり活動支援事業					
千里ニュータウン活性化再生支援事業	景観まちづくり推進事業		都市計画マスタープラン事業					
景観まちづくり推進事業			南吹田地域まちづくり事業					
			北千里駅周辺活性化支援事業					
事業の目的と概要 まちづくり計画事業は、都市計画法、景観法・景観まちづくり条例、千里ニュータウン再生指針等に基づき、市民、事業者、専門家等及び行政の相互の協働により地域特性を生かしたまちづくりを推進します。 また、審議会の運営、都市計画施設整備のための基金の管理、法令等に基づく助言や指導等、又は、地域課題解決のための計画等策定等の協働のまちづくり等、必要な事業を行います。								

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
アドバイザー派遣回数	回	19	13	17	南吹田地域まちづくりアドバイザー、都市計画まちづくりアドバイザー及び景観アドバイザーの合計派遣回数
事前協議等受付件数	件	275	297	243	景観まちづくり条例に基づく事前協議等受付数
千里ニュータウンのまちづくり指針チェックリスト指導件数	件	12	9	8	これまで育まれてきた千里ニュータウンのみどり豊かでゆとりある良好な住環境の発展継承
成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家をアドバイザーとして派遣するなど、市民主体のまちづくり活動を支援することにより、地区計画など地域独自のまちのルールづくり等を通して、地域特性を生かしたまちづくりを推進しました。 ・景観まちづくり条例に基づく事前協議手続きにおいて、必要に応じて専門的立場の「景観アドバイザー」による会議を概ね月2回開催するなど、開発事業者に対する助言・指導を行いました。 ・千里ニュータウンのまちづくり指針に沿った事業計画が行われました。 				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	30	37	30	△7
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	2,600	2,600
府支出金(経常費用充当)	639	696	843	148
財産収入	97	85	60	△14
寄附金	-	1,000	1,100	100
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	880	15	23	9
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	1,646	1,831	4,657	2,825
給与関係費	179,473	173,248	208,301	35,053
物件費	17,067	10,960	24,385	13,425
維持補修費	193	-	69	69
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1,925	1,681	1,590	△91
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	277	277	221	△56
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	13,677	13,821	17,179	3,358
退職手当引当金繰入額	8,629	2,130	50,810	48,680
支払利息	1	1	2	0
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	221,241	202,118	302,557	100,440
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△219,594	△200,286	△297,901	△97,615
特別収入	-	-	-	-
特別支出	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△219,594	△200,286	△297,901	△97,615
一般財源充当額	280,601	216,554	262,734	46,180
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	61,006	16,268	△35,167	△51,435

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
寄附金	寄附金は都市計画施設整備基金の指定寄附で法人1社、個人2名から寄附を受けました。
物件費	物件費の主な支出は、委託料で、都市計画マスタープラン推進事業における調査業務(風致地区に係る調査)1,987,200円 立地適正化計画策定支援業務13,143,600円等です。 景観アドバイザー会議費報償費 908千円 南吹田地域まちづくりアドバイザー派遣 132千円 都市計画まちづくりアドバイザー派遣 121千円 分担金 167千円(吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議平成28年度負担金)ほか
負担金・補助金・交付金等	

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,646	1,831	4,657	2,825
行政サービス活動支出	228,295	217,346	266,046	48,700
行政サービス活動収支差額	△226,649	△215,515	△261,389	△45,875
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	53,927	1,015	1,123	109
投資活動収支差額	△53,927	△1,015	△1,123	△109
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	25	25	221	196
財務活動収支差額	△25	△25	△221	△196
収支差額 合計	△280,601	△216,554	△262,734	△46,180
一般財源充当額	280,601	216,554	262,734	46,180
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	内容
(行政サービス活動収入) 集約都市形成支援事業補助金	2,600千円
(投資活動支出) 都市計画施設整備基金指定寄附金	1,100千円
預金利息	3千円
貸付金利息	20千円
(財務活動支出) 土木積算システム等リース債務返済	支出221千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民一人あたりのコスト	平成26年度	362,899 人	610 円	市民1人当たり、819円のコストがかかっています。 3月31日現在の吹田市の人口で算出しています。
	平成27年度	367,510 人	550 円	
	平成28年度	369,522 人	819 円	
	平成26年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	13,846	17,401	3,555
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	13,821	17,179	3,358
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	25	222	197
有形固定資産	144,248	144,955	707	その他流動負債	-	-	-
土地	144,175	144,175	-	固定負債	157,331	190,774	33,443
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	73	780	707	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	157,282	190,214	32,932
無形固定資産	-	-	-	リース債務	49	560	511
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	171,178	208,175	36,998
建物・工作物	-	-	-	純資産	7,037,288	6,002,121	△1,035,168
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	0	0	0
重要物品	0	0	0	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	7,064,218	6,065,341	△998,877
投資その他の資産	7,064,218	6,065,341	△998,877	出資金	77,000	77,000	0
出資金	77,000	77,000	0	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	6,987,218	5,988,341	△998,877
基金	6,987,218	5,988,341	△998,877	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	7,208,466	6,210,296	△998,170
資産の部合計	7,208,466	6,210,296	△998,170	負債及び純資産の部合計	7,208,466	6,210,296	△998,170

Ⅲ 財務構造分析

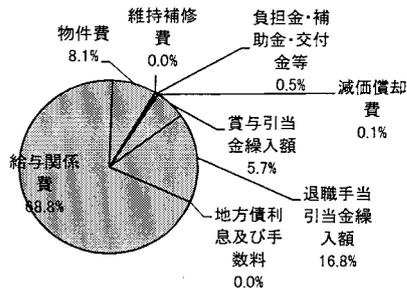
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	27.22 人	人	772 日	30 人	276,290
給与関係費等	268,459 千円	千円	7,514 千円	317 千円	
内、時間外勤務手当	6,483 千円				

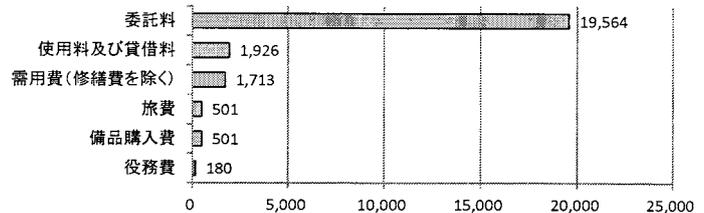
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
リース資産	707千円の増は、土木工事積算システムリース契約を平成28年4月1日付で締結したためです。
基金	基金998,877千円の減は、都市計画施設整備基金を取崩し、都市計画道路南吹田駅前立体交差事業等に充当したためです。

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
受益者負担比率		0.0	0.0	0.0	0.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.4	99.2	98.3	△0.9

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常経費の物件費24,385千円のうち、委託料が19,564千円で大半を占めています。
 主な委託内容は都市計画マスタープラン推進事業における調査委託業務費(風致地区にかかる調査)1,987千円、南吹田新駅周辺まちづくり検用VR作成業務委託費1,497千円、立地適正化計画策定支援業務委託費13,144千円で、地域特性を生かしたまちづくりに向け企画・立案に活用しました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業に係るコストのうち最も大きいものは給与関係費です。
 本事業では、地域特性を生かしたまちづくりに向けた企画・立案や市民主体のまちづくり活動への支援・啓発、開発事業者との協議・調整など、業務内容が多岐にわたっており、市民・事業者・専門家等との協働によるまちづくりを進めるうえで、職員の専門的知識や技術の向上、将来的な業務の伝承が必要であり、あわせて庁内関係部局間のさらなる連携が必要です。